

事業承継計画書

令和 ○年 ○月 ○日作成

住所 四国中央市○○町○○○番地

法人名（または屋号）株式会社○○○○

氏名 代表取締役○○○○

連絡先 ○○○-○○○○-○○○○

1 事業承継の概要

被承継者	氏名 △△ △△	年齢 70	事業承継（予定）日 令和 ○年 ○月 ○日
承継者	氏名 ○○ ○○	年齢 45	被承継者との関係 ☒ 親族内 ☐ 親族外 (長男)
(事業承継の理由) ○○○○のため			
(承継者の経歴) 平成○年○月 ○○大学経営学部卒業 平成○年○月 ○○会社就職 令和○年○月 ○○会社退職(退職金 150 万円)			

2 事業の形態等

法人名（屋号）	株式会社○○○○	創業年月日： ○年○月○日
事業所の所在地	四国中央市○○町○○○番地	
事業形態	☐ 個人 ☒ 法人（法人の場合：資本金 _____ 千円） フランチャイズ契約 ☐ 有 ☒ 無	
事業内容	（日本標準産業分類の中分類：番号 ○○ 業種名 飲食店） 例）日本食を中心にファミリー向けの飲食店を経営。	
本事業に必要な 許認可・免許等の 有無	☐ 無 ☒ 有（名称： □□□□□□ 取得日： ○年○月○日）	

3 事業承継前における直近1年間の月毎売上

(単位：千円)

年／月	R6／6	R6／7	R6／8	R6／9	R6／10	R6／11
売上	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○
年／月	R6／12	R7／1	R7／2	R7／3	R7／4	R7／5
売上	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○

4 事業承継への具体的な取組

項目	内容
事業の方向性	売上減少が続いているため、円滑な事業承継に向けて、収益力の強化が課題。従来の店舗での飲食業だけでなく、キッチンカーでの移動販売や、SNSを活用した情報発信など、販路拡大に取組む。
株式・財産	主要な事業用資産である店舗は現経営者の所有不動産であり、将来的に後継者が相続予定。それ以外の事業用資産(店舗設備、車両等)については、事業承継に伴って後継者に贈与する。
承継者教育	承継者は異業種で勤務していたため、経験が不十分である。承継時までは事業所内にて経験を積ませる。また、承継後についてもある一定期間については、現経営者がサポートする。
その他	事業承継に向け、現在の取引先へ早期のアナウンスを行う。また、承継時期までに従業員からの理解を得るために、現経営者がサポートする。

5 取扱商品・サービス

取扱商品・サービスの 内容	① 料理 (売上シェア 85%)
	② テイクアウト料理 (売上シェア 10%)
	③ 加工品(レトルト商品) (売上シェア 5%)
セールスポイント	高速道路のインターチェンジが近いことから、他県からの来訪者が利用しやすく
	産地直送の旬な食材を効率よく調達し提供できる。

6 取引先・取引関係等

	取引先会社名 (所在地等)	取引見込額	シェア
主な 販売先	□□□□ (○○市□□町△△)	○○○千 円	50%
	○○○○ (□□市△△町○○)	○○千 円	30%
主な 仕入先	□□□□ (○○市□□町△△)	○○○千 円	60%
	○○○○ (□□市△△町○○)	○○○千 円	30%
外注先	△△会社 (□□市△△町○○)	○○○千 円	100%

7 従業員

常時役員の人数 (法人の方のみ)	○人	従業員数 (うち家族)	△人 (△人)	パート・アルバイト	□人
---------------------	----	----------------	------------	-----------	----

8 借入の状況

借入先名	用途	借入残高	年間返済額
A 銀行	店舗改装費	100 万円	20 万円
A 銀行	調理用備品購入費	150 万円	30 万円
		万円	万円

9 必要な資金と調達方法

必要な資金		金額	調達の仕方	金額
設備資金	店舗、工場、機械、備品、車両 など（内訳） [市補助対象経費] 店舗改装費 調理用備品購入費	350 万円 (内訳) 100 万円 150 万円	自己資金	150 万円
			補助金等 (機関・補助金名) 四国中央市創業及び 事業承継補助金	50 万円 (内訳) 50 万円
	[市補助対象外経費] パソコン購入一式	100 万円	親、兄弟、知人、友人 等からの借入 (内訳・返済方法)	0 万円
			金融機関等からの 借入 (内訳・返済方法) A 銀行・分割	250 万円 (内訳) 250 万円
運転資金	商品仕入、経費支払資金など (内訳) [市補助対象経費] 広告宣伝費 [市補助対象外経費] 諸経費	100 万円 (内訳) 50 万円 50 万円		
市補助対象経費合計		300 万円		
合計		450 万円	合計	450 万円

10 事業の見通し（月平均）

	事業承継時	1 年後	2 年後	3 年後	軌道に乗った後 (令和 10 年 4 月頃)
売上高①	100 万円	150 万円	200 万円	220 万円	300 万円
売上原価② (仕入高)	30 万円 (30 万円)	45 万円 (45 万円)	60 万円 (60 万円)	65 万円 (65 万円)	90 万円 (90 万円)
経費					
人件費 (注)	20 万円	40 万円	60 万円	65 万円	90 万円
家賃	15 万円	15 万円	15 万円	15 万円	15 万円
支払利息	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円
その他	9 万円	14 万円	19 万円	24 万円	29 万円
合計③	45 万円	70 万円	95 万円	105 万円	135 万円
利益 ①－②－③	25 万円	35 万円	45 万円	50 万円	75 万円

売上高、売上原価（仕入高）、経費を計算された根拠をご記入ください。

売上高

創業時 1 日の目標 25 人 × 1,600 円 = 40,000 円

1 カ月の売上 40,000 円 × 25 日 = 1,000,000 円

1 カ月の利益 1,000,000 円 - 300,000 円 - 450,000 円 = 250,000 円

従業員 1 人 200,000 円 / 月

- ・取引先増加に伴い、売上高増加予定
- ・売上原価、人件費は売上高の 3 割以内

※個人営業の場合、事業主分は含めません。

11 その他特記事項（希望する支援、事業を行う上での悩み等）

12 認定支援機関の確認・連絡先

上記の内容について確認しました。

住 所 四国中央市〇〇町△△番地

機関名 四国中央商工会議所

⑩

(連絡先 〇〇-△△

担当: 〇〇)